

# Hayato

# Emishi

Saitobaru Archaeological Museum of Miyazaki Prefecture



特別展

# 化内<sup>けない</sup>の辺境

## 隼人と蝦夷

陸奥国俘囚百四十四人配于伊予国。五百七十八人配于筑紫。十五人和泉監焉。

隼人多来、貢方物。是日。大隅隼人与阿多隼人、相撲於朝廷。

# 隼人

# 蝦夷

2016 7月16日 SAT ▶ 9月11日 SUN **入館無料**

関連講演会 「隼人・蝦夷とは何者か」

日時：2016(平成28)年7月31日(日) 13:00 ~ 16:00 場所：西都原考古博物館 1Fホール  
講師：永山 修一氏 (ラ・サール学園) 八木 光則氏 (岩手大学平泉文化研究センター) 北郷 泰道氏 (宮崎県教育委員会)

宮崎県立 **西都原考古博物館**  
Saitobaru Archaeological Museum of Miyazaki Prefecture

〒881-0005 宮崎県西都市大字三宅5670番  
TEL.0983-41-0041 FAX.0983-41-0051  
<http://saito-muse.pref.miyazaki.jp>

開館時間：10:00~18:00(展示室入室は17:30まで)  
休館日：月曜日(国民の祝日と重なる時は翌日) ※8月15日(月)は開館  
国民の祝日の翌日(休日に当たるときを除く)

宮崎県では、記紀編さん1300年記念事業の一環として、ユネスコ無形文化遺産に向けて「宮崎の神楽」、世界文化遺産に向けて「南九州の古墳文化」を発信しています。



平成28年度 宮崎県立西都原考古博物館特別展

# 化内の辺境 ～隼人と蝦夷～

「化内<sup>けない</sup>」とは、律令国家の統治範囲内を指し、その対義として「化外<sup>けがい</sup>」があります。「化内の辺境」とは、律令国家の統治範囲内にありながら中央から遠く離れ、時として化外との扱いを受けた地域でした。

「隼人」と「蝦夷」は、東アジア情勢が緊迫する中、完成された国家であることを対外的にアピールする必要に迫られた律令国家が、政治的な意図をもって日本列島の南北端に創出した「異民族」でした。

本展示会では、そうした辺境が創出される過程とその後の展開、列島の南北端で行われた辺境政策の差を見つめることで、「隼人」の存在を浮かび上がらせることとします。

## 畿内色の強い 円筒埴輪

女狭穂塚出土 レプリカ  
原品は宮内庁所蔵

5世紀前半に築造された九州最大の前方後円墳である女狭穂塚は、畿内中央部の前方後円墳と高い相似性を示し、出土した埴輪には、畿内的様相が色濃くみられます。この点から古墳時代中期頃には、倭政権と南九州が密接な関係をもっていたことが窺えます。



## 復元された 隼人楯

原品は奈良文化財研究所所蔵  
(奈良文化財研究所提供)

平城宮の発掘において井戸枿に転用された16枚の木製楯が出土しましたが、それらの表面に描かれた彩色文様が、『延喜式』隼人司条に記された威儀用楯の特徴と一致することから「隼人楯」と呼ばれています。中央における隼人の奉仕を垣間見せる資料です。



## 九州で見つかった蕨手刀

大村横穴墓採集  
(熊本県立装飾古墳館提供)

蕨手刀は、柄頭の形状が早蕨に似ていることから名付けられました。7～9世紀にかけて列島各地で見られますが、北海道から東北地方にかけて全体の8割が出土しています。東北地方以北に偏在していることから蝦夷に関連する刀との見方もあります。九州での出土は3例しかなく、その一つがこの大村横穴墓(人吉市)周辺で採集された蕨手刀です。



## 平成28年度 展示会年間情報

国際交流展 2016(平成28)年 10月8日(土)～12月4日(日)

マハン ベクチェ

### 馬韓・百濟と南九州

馬韓・百濟の領域にありながら、独特の地域性をもつ韓国南西部の古墳からの出土品を中心に、南九州との関係を思わせる資料なども取り上げ、活発な交流の実態に迫ります。



沃野里古墳群 (韓国全羅南道靈岩郡)

企画展Ⅱ 2017(平成29)年 1月14日(土)～3月20日(月・祝)

それかおよし

### 其顔容麗美 ～顔の考古学～

各時代における考古学から見た「顔」をテーマに、埴輪をはじめ顔の表現を持つ出土品や宮崎で数多く発見されている古墳時代の古人骨から復元された顔を紹介します。



神領10号墳出土盾持人埴輪頭部  
(鹿児島大学総合研究博物館所蔵)